

# 改選後初の定例議会、7日開会

市議会議員の選挙後初めての定例議会が7日から21日まで開かれます。

今議会には平成28年度一般会計補正予算、ガス事業会計補正予算など17案件が上程される予定です。

このうち、一般会計補正予算は歳入歳出総額に2億6706万円を追加するもので、予算規模は1135億4626万円にふくらみます。

歳出で主なものは、高田公園陸上競技場のトラックの改修及び器具庫を備えたスタンドなど教育費で1億9207円増額する内容となっています。また商工費では、キューピットバレー

スキー場のゲレンデ整備車の修繕、レストハウスの修繕などで9284万円増額します。災害復旧費では法道田線の復旧について、恒久的な対策を検討するため

に必要な地質調査、測量設計に係わる委託料などで810万円を補正します。

今議会、日本共産党議員団は久しぶりに4人体制です。安倍内閣の暴走政治の下、市民のみなさんの命と暮らしを守るために、一般質問、委員会質問で全力をあげます。審議日程は下表をご覧ください。傍聴をお待ちしています。

計に必要の地質調査、測量設計に係わる委託料などで810万円を補正します。



## 直江津・頸城の会が総会

「在来線と地域の在り方を考える直江津・頸城の会」の総会が28日にありました。

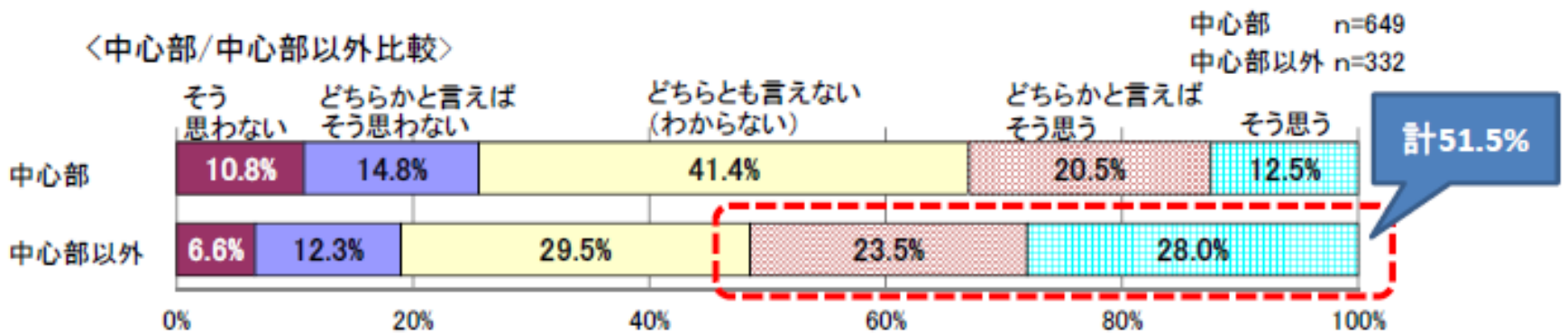
挨拶に立った仲田紀夫会長は、「開業後、ダイヤ編成など様々な課題が出てきている。駅を中心としたまちづくりをどう展開していくかなど、いま、組織の原点である『在来線と地域のあり方』が問われている」とのべていました。

## 県民アンケートより

※新潟県資料「平成の市町村合併を振り返って」よりコピーしたものです。

○「合併によって中心部だけが良くなり、中心部以外は取り残されてしまうのではないか」という不安について、**中心部以外では「そう思う」又は「どちらかと言えばそう思う」を選んだ割合が50%超**

### 〈中心部/中心部以外比較〉



## 6月議会の審議日程 (開始時間は午前10時)

日(曜日)	会議名	場所	備考
7日(火)	本会議	議場	提案理由説明
8日(水)	厚生委員会	第1委員会室	付託案件審査
9日(木)	建設企業委員会	第1委員会室	付託案件審査
10日(金)	文教経済委員会	第1委員会室	付託案件審査
13日(月)	総務委員会	第1委員会室	付託案件審査
14日(火)	本会議	議場	一般質問
15日(水)	本会議	議場	一般質問
16日(木)	本会議	議場	一般質問
17日(金)	本会議	議場	一般質問
21日(火)	本会議	議場	議案採決他



### 大根の実

大根に花が咲くところまでは見ていましたが、実をつけるところまでは見たことがありませんでした。実が柔らかいうちに漬物にして食べている人がいたとは……。

写真は吉川区旭地区にて撮影。



【タツナミソウ】シソ科の多年草。漢字で、「立浪草」と書きます。ツバメの子どもが巣から身を乗り出し、餌を待っているような姿が気に入っています。花の色は青紫色です。吉川区にて撮影しました。

# はしづめ法一の活動レポート

No.1759 2016.6.5

発行・編集 日本共産党上越市議 橋爪のりかず

Tel 025-548-3628

通じないときは 090-5392-1961

E-mail hasiznyg@ruby.ocn.ne.jp

URL <http://www.hose1.jp/>



ブログ  
「ホーセの  
てある記」は  
← こちら

橋爪法一

検索



# 春よ来い

## 第四〇七回

### 全校朝礼

学校の先生だった人にとって、自分が勤めていた学校の子どもだった人から手紙をもらうことは特別うれしいようです。元教員のHさんが二〇年ぶりに手紙をくれた人のことを語ってくださいましたのは五月の下旬のことでした。

「いやー、二〇年ぶりに手紙がきましたね」そう語り出したHさんは、ちよつと照れくさそうにしながら、手紙がくることになった背景というか、小学校に勤務していた当時の出来事について教えてくださいました。その時、Hさんは眼鏡の奥に横たわっている細い目をさらに細くさせていました。

Hさんは旧柿崎町立上中山小学校の校長先生だった人です。Hさんに手紙を出したのは黒川地区出身のTさん、二〇数年前に上中山小学校に通っていた女性です。Tさんは二〇代の前半に父親を亡くした後、事情があつて実家へ戻ることができなかったそうです。それが昨年、久しぶりに実家を訪れ、小学校時代にもらつた賞状や卒業アルバムなどを手にします。それらを見たTさんは、小学校時代は「宝のような六年間」だったと振り返り、その気持ちをHさんに伝えようとしたのでした。

Tさんが担任でもないHさんに手紙を書くにあたって、何がそうさせたのか。Hさんからお聴きした手紙の内容から判断すると、これは私の想像ですが、Hさんが校長として全校朝礼で約二年間話し続けた草花のことが大きな影響を与えたようなのです。

Hさんは旧上中山小学校に三年間、校長として勤務していました。全校朝礼は毎週一回あります。最初は、子どもたちの心に残る話をしようと、テーマも決めずに話をしていたとのことですが、次第に話題をさがすのがたいへんになります。そこで思いついたのは学校の周辺に咲く野の花のことを語ることでした。子どもたちに草花について関心を持つようになってほしいという思いもありました。

学校の周辺に咲く花のことを語るには、いうまでもなく実際にどんな花が咲いているのかを知る必要があります。これは簡単そうで簡単ではありませんでした。そこでHさんは、学校の近くに住んでいて、野の花のことについて詳しいSさんの力を借りることにしました。Sさんは職場がHさんと同じだったこともある元教員でした。頼まれたSさんは、「オレかね、だれか他にいねかね」と遠慮しておられたそうですが、最後は協力されます。そして学校の教職員を対象にした野の花の研修会も開かれました。

全校朝礼で野の花について語るにあたり、Hさんは子どもたちに一方的に語って教えるのではなく、一緒に学ぶことを重視してきました。分からない野の花が出てきた時に、関係資料を子どもたちにどんと預けたこともあるといいます。もちろん、自分自身でも調べました。そのために新潟日報事業社の『新潟県野草図鑑』や平凡社の『日本の野生植物』も手元に置きました。

Tさんからの手紙の中では、先生に花の名前などを教えていただき、すっかり花を愛する人になったことが書かれていました。そしてHさんもまた、Tさんのことをよく憶えておられました。「話をよく聴いてくれた子でした。頭が良かったです。花には関心が深く、『これ、なーに』とよく訊いてきました」。すごい記憶力ですね。

Hさん宅に上がって行く道のそばにはいま、キョウチクトウ科のツルニチニチソウが青紫色の花を咲かせています。「子どもたちに花の名前をおぼえてもらうためには由来をしっかりと伝えることが大事でした」と熱心に語るHさんの姿を見て、私は思いました。一度、Hさんから野の花をテーマにした全校朝礼を再現してほしいものだ。

## 市内各地で運動会

田植えがほぼ終わり、市内各地の小学校では運動会が行われています。このうち、吉川小学校の運動会は5月28日、同校のグラウンドにて開催されました。

私も来賓として招かれ、様々な種目に出場した児童や保護者などを応援してきました。この日は強い陽射しもなく運動会日和でした。私は長袖シャツを着て

行ったのですが、最初は寒かったですね。

来賓席に座っていて、何となく私にも出番がやってくるかもしれないと思っていたところ、やってきましたよ。3・4年生の「じゃんけん借り物レース」でした。私は、「メガネをかけたおじさん」として約50メートルを全力疾走、来賓席に戻るときには大きな拍手で迎えられました。ただ、その後、筋肉痛に苦しんでいます。写真は当日の別のレース。



## 上越地域各消防署における空間放射線量測定結果

測定は毎日午前9時。数値はマイクロシーベルト。1時間当たりの測定量です。消防署によると、通常は1時間当たり0.016~0.16  $\mu$  Sv(マイクロシーベルト)だとのこと。

	5月25日(水)	6月1日(水)
上越南消防署	0.047	0.040
上越北消防署	0.050	0.057
新井消防署	0.050	0.057
頸北消防署	0.053	0.043
頸南消防署	0.060	0.057
東頸消防署	0.047	0.050
高士分遣所	0.047	0.043
名立分遣所	0.050	0.057

## 「安倍内閣の暴走ストップを！」と全国でいっせいに街頭宣伝

通常国会の最終日となった1日、日本共産党は全国で一斉に街頭宣伝を行いました。上越市でも市議会議員を先頭に取り組みました。

私はこの日、人間ドックだったため午後から牧区、吉川区などで宣伝カーを走らせました。



マイクを握った私は、「安保法制(戦争法)の強行、TPPの推進、原発再稼働など安倍内閣のやっていることは国民の声を無視した暴走で許せない。今度の参院選は戦後政治史の中でも初めて野党共闘ができた国政選挙となる。力を合わせ、平和と暮らしを守っていきましょう」と訴えました。